



報道関係者各位

学校法人梅村学園中京大学

SIGGRAPH ASIA 2025において研究成果を発表

日本の伝統芸能を題材とした音声を用いた動作生成に関する研究

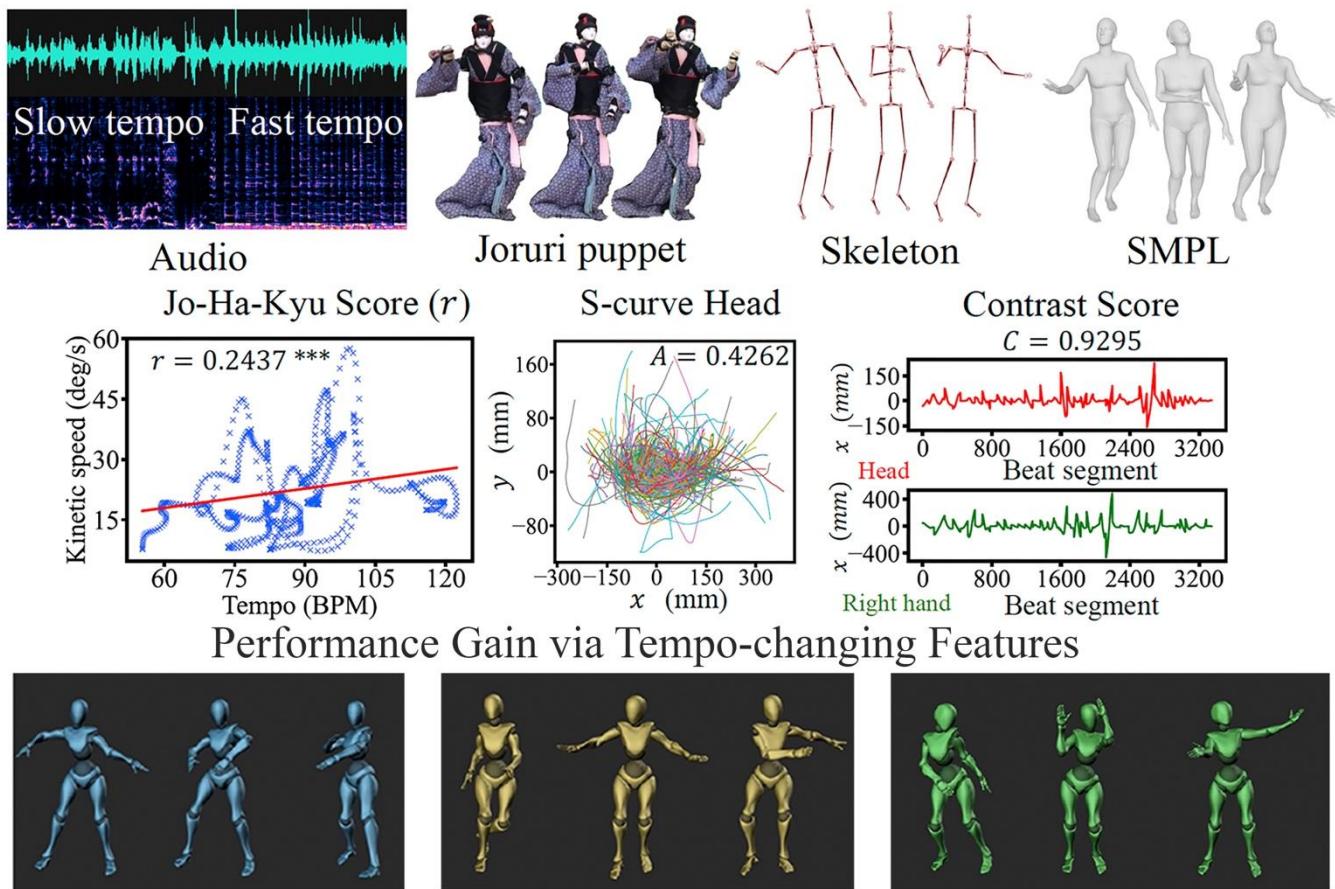
中京大学工学部の董然講師らの研究グループは、コンピュータグラフィックス分野の国際トップカンファレンス SIGGRAPH ASIA 2025において、音声からモーションへの生成に関する研究成果を発表しました。本研究は、三重大学の倪少文講師、中国の吉林大学楊溪准教授との共同研究として実施されたものです。



論文題目：JoruriPuppet: Learning Tempo-Changing Mechanisms Beyond the Beat for Music-to-Motion Generation with Expressive Metrics

研究概要

音楽から動作を生成する研究において、音楽のテンポ変化は、動作表現の感情的な豊かさやリズミカル性に大きな影響を与える要素である。本研究では、音楽に内在するテンポ変化を明示的に表現可能な新たな音楽特徴量を提案するとともに、日本の無形文化遺産である人形浄瑠璃を題材とした音楽・動作データセット「JoruriPuppet」を構築した。さらに、生成された動作の音楽との同期性および表現力を定量的に評価する新たな指標を導入した。実験結果から、提案したテンポ変化特徴を導入することで、音楽から動作を生成する性能が向上することを確認し、本手法の有効性および汎用性を示した。



研究詳細は関連リンクをご参照ください。

プロジェクトページ：<https://www.dr-lab.org/projects/joruripuppet/>

論文（ACM Digital Library）：<https://dl.acm.org/doi/10.1145/3757377.3764006>

董然講師個人ページ：<https://www.dr-lab.org/dong/>

2026 年 1 月 7 日

●研究内容に関するお問い合わせ先

中京大学工学部 講師 董然

E-mail : randong@sist.chukyo-u.ac.jp

取材に関するお問い合わせ先

中京大学 広報課

E-mail : kouhou@ml.chukyo-u.ac.jp